

介護ウェブ 2026 推進ニュース

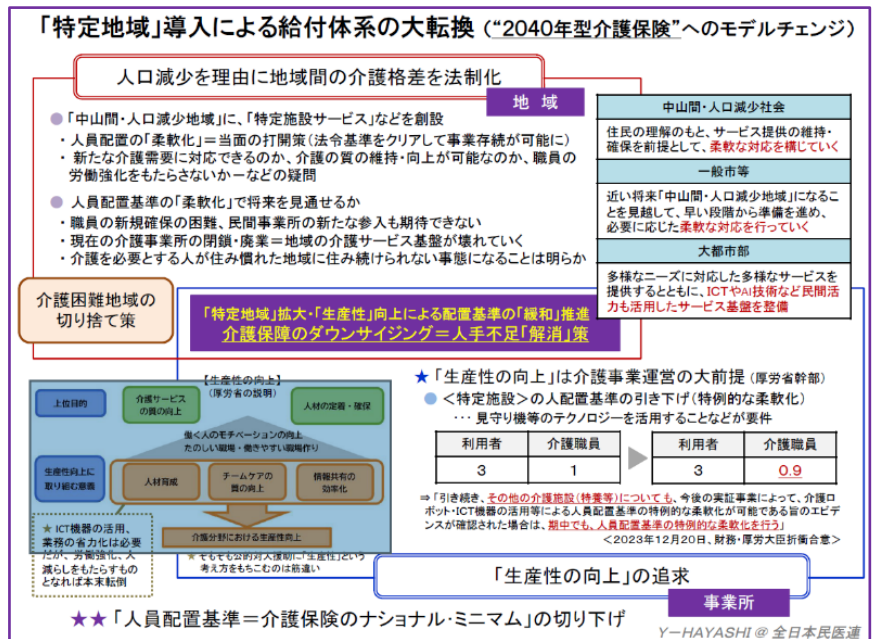
『介護請願署名2026』に取り組み 社会を変えよう !!

《新介護署名 キックオフ集会》

2026年7月28日(火)18時より、中央社保協・全労連・全日本民医連主催で、「介護保険制度・介護報酬の抜本改善、大幅な処遇改善を求める新介護署名キックオフ集会」が開催されました。集会はオンライン配信され、363のアクセスがありました。

【学習講演－全日本民医連・林泰則さん】

林さんより、「介護保険をめぐる情勢と新介護請願署名のポイント」についてミニ学習会が行われました。学習会では、「利用料2割負担の対象拡大を許せば原則2割負担への、住宅型有料老人ホームでのケアプラン有料化を許せば全てのケアプラン有料化への突破口となりえるため、実施阻止のたたかいが重要です。国は中山間・人口減少地域の中に特定地域を設け、地域の実情に応じた柔軟なサービス提供を可能とする仕組みをつくるとしています。この対象地域は356市町村とあるが、一部地域だけの市町村も含めると約半数の自治体対象となります。これは人口減少を理由に地域間の介護格差を法制化するもので、介護困難地域の切り捨て策と言えます。人員配置基準の引き上げ、介護従事者の給与の引き上げ、介護事業所の安定的な経営など、誰もが必要ときに必要な介護サービスを受けることができる制度を求めています。そのためには、介護保険制度の財政割合で、国の負担割合を増やす必要があります。国は防衛費増額を狙っているため、『ミサイルではなくケアを！』というスローガンをしっかり掲げていきたい。秋の臨時国会では骨太方針の中身の議論が始まります。地域から、現場から、私たちの要求を掲げ、国に対して訴えていきましょう」と述べられた。



【各地からの報告－事業者・労働者・利用者の立場から】

○ 大阪民医連 医療福祉生活協同組合おおさか・矢島圭さん

事業者の立場から、矢島さんより、「2024年度の介護報酬改定等の影響もあり、事業の統合・再編の対応を迫られました。2024年度の介護報酬改定では、訪問介護の基本報酬が引き下げられ、物価高騰等も重なり、小規模事業所の経営は更に厳しくなっています。地域による介護サービスの格差、事業所が無く介護サービス受けることもできない。これらは私たちが直面している大きな課題です。職員からは、誇りを持って仕事をして給料が安いなどの声があります。一人一人の声を力にしてともにがんばっていきましょう」との発言がありました。

○ 北海道勤労者医療協会労働組合・井上晃さん

労働者の立場から、井上さんより、「社会福祉法改正の審議では、特定地域について議論されていますが、北海道の多くの自治体がこの対象になるのではないかと、サービスが枯渇した地域では今後どうすれば良いかといった危惧があります。署名運動の取り組みを通じて、自治体に改善を求めて声を上げてきました。また、北海道では笑顔連絡会に結集して、署名宣伝行動以外にも、介護現場の笑顔写真展や、現場の介護職員が市民との交流の場をもつことで、たくさんの応援の声を頂くようにもなりました。しかしまだ、国が言う『多職種と遜色のない賃金水準』には全く届いてはいないため、発信を続けていきたい」との発言がありました。

○ 新日本婦人の会 京都 西京支部・佐藤麻里子さん

利用者の立場から、佐藤さんより、「西京支部では、暮らし社会保障部という活動をしており、2000年の介護保険制度発足時には、助け合いの会の活動をスタートしました。助け合いの会の主な活動は、自動車を使った有償での通院介助の取り組みです。それ以外には、介護施設見学会や、介護保険制度の学習会など取り組んできました。毎月、各地域のスーパー前での署名活動も行っており、利用者からはこれ以上介護保険制度が改悪されたら生活できないとの声が寄せられます。介護を担っている家族が集まれる企画として、介護おしゃべりカフェを企画し、介護の大変さをお互いに共感できる機会となっています。今後も、介護を担う家族同士のつながりを大切に活動をお願いしたい」との発言がありました。

【行動提起—中央社保協・林信悟さん】

林さんから、「介護改善運動を全国各地で広げよう」と呼びかけがあり、署名目標50万筆を達成させて社会を変えるため、「介護改善3本柱」「介護改善行動6つの柱」が提起されました。そして最後に、「介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度の実現へ、全国の仲間とともに声をあげよう」と力強く呼びかけました。

介護署名2026で社会を変えよう

(目標50万筆 この秋25万筆を目指そう)

- ① 署名は国民の権利
- ② 署名は誰でもできる
- ③ 署名の数は国民の声
- ④ 署名は社会を変える
- ⑤ 署名活動は元気の源



介護改善3本柱

- ① 介護報酬の大幅引き上げ
(2027年4月介護報酬の本改定、年末までのたたかいが重要)
- ② 抜本的な介護人材の確保
(深刻な介護人材不足、月額8.2万円も低い介護職員の給与改善)
- ③ 介護3大改悪の阻止
(2割負担対象拡大、ケアプラン有料化、介護サービスの規制緩和)

介護改善行動6つの柱

- ① 請願行動に集中する
- ② 大規模宣伝に打って出る
- ③ 厚労省(審議会)を包囲する
- ④ 自治体に介護要求を届ける
- ⑤ 学びを力に学習運動を強化する
- ⑥ 介護改善大運動の共同を広げる

★ 当日の集会の様子は、中央社保協のホームページから視聴できます。

- 動画 (YouTube) へのアクセスは ↓ 下記から
<https://www.youtube.com/watch?v=4zCHYvKIDek>
- 中央社保協ホームページへのアクセスは ↓ 下記から
<https://shahokyo.jp/>

お問い合わせ先 介護ウェア推進本部

TEL: 03-5842-6451

E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp

全日本民医連事務局: 栗原・若林・林